

福まちかわら版

福祉のまち推進センター（通称「福まち」）とは、地域住民による自主的な福祉活動（日常的な見守り、支え合い等）を行う組織です。地区社会福祉協議会（概ね連合町内会単位）ごとに設置され、札幌市全体で89地区、東区では10地区の福まちが活動しています。

鉄東地区 【福祉のまち推進センター】

モルックで交流 ～ふれあいの会を開催しました～

令和6年10月30日（水）、31日（木）にふれあいの会を開催しました。30日はむつみ会館、31日は鉄東会館で開催し、2日間で延べ85名の方にご参加いただきました。

前半は福祉に関する関係4機関（東区役所保健福祉課、東区第1地域包括支援センター、東区介護予防センターなえぼ、東区社協）から、それぞれの事業紹介とともに健康に関する講話がありました。

後半は話題のスポーツ「モルック」の大会が行われました。準備体操と簡単なルール説明のあと、参加者が2



チームに分かれて対戦を楽しみました。モルックは年齢や性別を

問わず、誰でも簡単にできる競技です。多くの方が初挑戦でしたが、徐々にコツを掴んで参加者全員が一



体となって楽しんでいる様子が伺えました。一投に一喜一憂しながら参加者同士の交流も生まれ、最後の勝負が決まった瞬間には両チームともに大盛り上がり。たくさん笑顔が溢れました。

鉄東地区福まちでは、みなさんが楽しめる催しを通して、人と人の繋がりを感じる地域づくりに取り組んでいます。

北栄地区 【福祉のまち推進センター】

鮮やかなマジックに拍手！

令和6年10月10日（木）、北栄会館において『高齢者・福祉協力員 交流会』が開催され、48名の地域の方々と福祉協力員が参加されました。この事業は、地域の高齢者と、日ごろから見守り活動を行っている福まち福祉協力員が関係を深める機会となることを目的として開催しています。

当日は、最初に北栄連合町内会防犯防災部藤原部長から、高齢者が巻き込まれやすい特殊詐欺への注意喚起や、火災予防の観点から住宅用火災警報器についての説明、防犯アラームグリップ（防犯ブザー）の使い方等、高齢者の日常生活に直結する話題についてお話がありました。



そのあとは、ボランティアによる「お楽しみマジックショー」が行われ、地域の方々も参加するマジックも披露されるなど、マジック成功時には会場は驚きの声と拍手に包まれました。日々の生活に役立つ話と楽しいマジックショーで楽しいひとときを過ごし、「こんな目の前でマジックを披露してもらったのは初めて!」と参加者された高齢者と福祉協力員の間で話も弾んでいたのが印象的でした。

